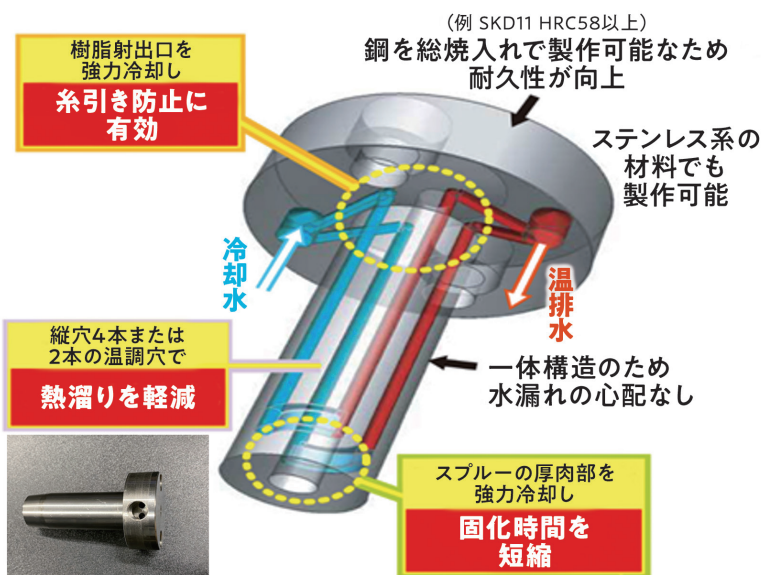


株式会社 清明エンジニアリング

切削・研削・摩擦圧接、
多様な工法を駆使し対応

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



新しい工法で素材内部に水路形成

主な事業内容

機械加工による部品製作、
摩擦圧接、鍛造品の機械加工

主な取引先(納入先)

繊維機械、産業機械、自動車部品
などのメーカーおよび商社

主な製品

繊維機械、産業機械、食品機械、
自動車、医療機器などの部品

業務内容
M&Aで得た幅広さに
加えた高精度の付加価値

清明エンジニアリングはM&Aを重ね、現在5社の集合体として各企業の強みを生かしながら金属部品を製造する会社だ。切削の経験や設備の幅などそれぞれの得意分野の結集を基盤とし、さらに、最新のNC研磨機や検査機器を導入することで、技術力を高度化している。自動車や自転車、繊維機械、食品機械、半導体製造装置、医療機器などを製造する、多くのメーカーを支える存在となっている。

スローガンは「想像を超える創造を」。常識にとらわれず、あらゆる工法を駆使する現場では、複雑な水路を内部に形成した部品や、液体を封入した金属球体などの難しい依頼にも対応する。

強み
摩擦圧接による異種金属
接合材で新たな可能性

「他社ができないことを可能にする」をモットーに挑戦する中で知見が深まり、強みとなった技術が摩擦圧接加工による異種金属接合である。材料同士の摩擦熱で軟化させ加压接合する摩擦圧接は、溶接で必要な切り込みがいらす工程や材料に無駄がない。また、溶接

では難しいアルミニウムと銅や、アルミニウムとステンレスなどの異種金属の接合が可能だ。「組み合わせは無限。各単体素材の持つ特性を生かした異種金属接合材は、部品開発の可能性を大きく広げる」。こう話す川上巧社長は、同工法を使って、いかに低コストかつ短時間で部品を完成させるかを考え提案し、顧客とともに新たな部品作りへ挑戦している。

信頼の
摩擦圧接の
JIS規格制定に貢献

同社は、業界において高い技術力と信頼性に定評がある。早くから摩擦圧接に着目し、20年以上の経験を持つ。同社グループ企業主導で、経済産業省が平成28年に制定した「摩擦圧接による異種金属継手の試験方法及び継手品質評価の分類」(JIS Z 3175)の標準規格化にも貢献している。また、加工実績だけでなく信頼を積み重ねたことで、令和5年6月には摩擦圧接技術協会から実用化優秀工場として協会賞を授与された。摩擦圧接の技術は今後より一層普及すると考えられるため、この技術が部品作りを大きく変えることが期待される。

社長あいさつ

代表取締役
川上 巧さん

当社は“欲”という付加価値をつけて提供します。お客様の喜び、驚き、感動、つまり“欲”する製品です。“欲”のついた製品に触れていただければ新しい発見につながるかもしれません。また、もう一度、弊社で作ってみたいというスパイラルが起こるよう、今後も、ものづくりに精進していきます。

主な保有設備

- NC旋盤 LB-3000EXほか
オークマ製ほか 49台
- NC旋盤5軸加工機
MULTUS U4000ほか
オークマ製ほか 3台
- マシニングセンタ MB-46VAEほか
オークマ製 37台
- 5軸制御立型マシニングセンタ
MU-500VA-L オークマ製 1台
- 三次元測定機 ACCURA 12/18/10
東京精密製ほか 4台

大阪
05

住 所 / 〒586-0026
河内長野市
寿町9-11

T E L / 0721-50-0578
F A X / 0721-50-0579

創 業 / 平成19年

設 立 / 平成19年8月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 60名



材料素材内部の空洞化利用



異種金属接合材で新しい用途開発



<https://kss-sayama.jp/>